

かいしょ 海上の森とは



「海上の森」は、愛知万博記念の森として保全されている地域です。瀬戸市南東部の都市近郊に位置しますが、豊かな森林や農地、湿地、水辺など、様々な環境があり、たくさんの生きものが生息しています。

あいち海上の森センターでは、この「海上の森」を将来にわたり保全するとともに、人と自然の豊かな関係づくりを目指しています。「海上の森」の中には人工林も多く、森林整備のフィールドも提供できます。「海上の森」にあなたの森を作ってみませんか。

足助きこい塾

講座3～4日目に訪れる森林は、理解ある林業家の指導のもと、山仕事や木づかいを学ぶ「足助きこい塾」のフィールドです。



手入れされた心地よい人工林を見学し、林内作業車や製材機を使った実習を行います。

宿泊・交流会

講座3日目の夜は、講師と希望する受講生で、山の上にある「あすけ里山コースホテル」に泊まります。小さな小学校を改装した素敵な雰囲気の中で、暖炉を囲みながら交流を深めましょう。



申込方法

受講希望者は、所定の様式の申込書をあいち海上の森センター宛て、郵送、メール、FAX 又は持参にて提出してください。

※ 様式はホームページからダウンロードするか、電話、ファクシミリ、メールにて請求してください。

締め切り：**平成30年8月24日(金)** <必着>

提出先：あいち海上の森センター

〒489-0857 愛知県瀬戸市吉野町 304-1

問合せ：0561-86-0606 (電話)

0561-85-1841 (ファクシミリ)

kaisho@pref.aichi.lg.jp (E-mail)

web ページ：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/30morijyo.html>

受講の可否について、平成30年8月31日(金)までに、応募者全員に通知します。



本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用しています。

平成30年度
海上の森
アカデミー

もりじょ

森女養成コース

山仕事は男の世界？ 女性にチェーンソーは無理？
そんなことはありません。森に向き合う女性、応援します！！



< 開催日 > 全6回

平成30年 9月23日(日)、9月24日(月・振替)、10月20日(土)、
10月21日(日)、11月23日(金・祝)、11月24日(土)

< 場所 > 海上の森 (瀬戸市吉野町) ほか

< 定員 > 10名 (全日程参加できる方)

< 対象 > 森林の保全や整備に関心がある **女性**

< 参加費 > 無料 ※ ただし、別途保険料等が必要となります。



この講座ではどんなことを学べるの？

1. 森の状態を科学的に調べる

2. 森をデザインし、計画を立てる

3. チェーンソーで木を伐る

4. 山の資産価値を計算する

こんな女性はぜひご参加を！

「森林ボランティアって私でもできるかな」
「地元の山が荒れてるけど、どうしたらいいんだろう」
「海上の森で森づくりに関わってみたい」
などなど

森づくりの一連の流れを
技術・知識の両面から
学んでいきます。



はじめに

何十年も昔に木を植えた人がいる。
大きく育った木を私たちが使う。
地域で育んできた森林に、もう一度目を向けよう。



人がスギやヒノキを植えた人工林は、植えて終わりではなく、手入れをし、良い木を育て、伐って活用していくのが本来の姿です。戦後、日本では様々な場所で植林が行われました。しかし、今、木材需要の低迷等により、放置された人工林が少なくありません。人工林をはじめとする森づくりに、もう一度、多くの人々が目を向け、関わっていくことが求められています。

山に入り、自然を感じ、地域とつながる。もちろん大変なこともあります。森づくりは大きな喜びを得られる活動です。近年では、森づくりに携わる若い人も少しずつ増えてきました。それに伴い、今まで男性の世界と思われがちだった林業の世界に入る「林業女子」も増えています。

この講座では、仕事としての林業に限らず、所有する山の管理や森林ボランティアなど、何らかの形で森づくりに関わる女性「森女」になるための、基礎的な知識・技能を身に付けていただくことを目指しています。

講師紹介

全日、丹羽健司さんと中島彩さんを、講師にお迎えします。

全国各地に森の健康診断や木の駅プロジェクトを展開中。
矢作川水系森林ボランティア協議会や足助きこり塾の立ち上げに関わるなど、森と人をつなぎ、元気にするための様々な活動を行っていらっしゃいます。
著書「森の健康診断」、「木の駅 ～軽トラ・チェーンソーで山も人もいきいき～」など。



丹羽 健司さん

中島 彩さん



兵庫県丹波市で林業に従事。ダンサーから、27歳で林業の世界に転身。住民参加型の森林整備活動の現場について、「現代林業」で連載。森づくり・人づくりの第一線で活躍中です。
著書「今日も林業日和-ナカマ・アヤの現場日誌 山、仕事、愉快的仲間たち」。

プログラム

フィールドワークを中心に、実践的な内容を学びます。

1日目 9月23日(日) 9:00~16:00	科目名 森の健康診断	場所 海上の森(瀬戸市吉野町)	内容 植栽木のサイズと密度、地表面やほかの植物の状態など、100円グッズで、科学的に森林の状況を評価する手法を学びます。
2日目 9月24日(月・振替) 9:00~16:00	科目名 森のデザイン	場所 海上の森	内容 どんな森にしたいか目標を立て、施業計画の立て方や伐倒する木の選び方を学びます。また、チェーンソーの使い方を覚えます。
3日目 10月20日(土) 9:00~16:00 【宿泊・交流会】	科目名 伐倒	場所 足助きこり塾の森林(豊田市御内町)	内容 足助きこり塾の森林を見学します。また、伐倒方向の見極めからロープの掛け方、伐倒までを実践します。
4日目 10月21日(日) 9:00~16:00	科目名 搬出・製材	場所 足助きこり塾の森林	内容 山中での伐倒から造材、林内作業車での搬出、製材まで、一連の流れを学びます。
5日目 11月23日(金・祝) 9:00~16:00	科目名 山の棚おろし	場所 海上の森	内容 生育している木の数と質をチェックし、山の資産価値を計算します。また、危険を伴うかかり木処理の方法について学びます。
6日目 11月24日(土) 9:00~16:00	科目名 総括	場所 海上の森	内容 選木から伐木・造材までの一連の作業を、一人ずつ通しで行い、全員で学び合います。また、今後の活動をデザインします。



受講生の声

座学と実践のバランスがいい。

“そうだったんだ!”と驚くことばかりで、ワクワク学べた。

皆でわいわいと語り合い、考える時間が本当に楽しい。

選木から搬出までみっちり教えてもらえて満足。

- ※ 原則、全日程参加出来る方を募集します。
- ※ 応募者多数の場合は、県内在住、在学、在勤の方、または県外にお住まいで県内において森林ボランティア等を継続的に実施している方を優先します。
- ※ 飲み物、弁当、ハイカットの安全靴(ハイカットの登山靴でも可)、作業用革手袋等の持参が必要です。
- ※ 保険料 1,200円程度が必要です。
- ※ 宿泊を希望される方は宿泊費(1泊2食付) 6,050円が必要です。
- ※ プログラムの内容や講師は変更になる場合があります。